

始業式に臨んで

令和2年4月1日

校長 近藤哲生

57名の在校生の皆さん進級おめでとう。みなさんの新しいスタートを心からお祝いします。コロナウイルスによる感染症拡大の影響で3月2日から臨時休業に入り、引き続いて春季休業に入ったため、退職されたり他校へ転勤されたりした先生方とお別れをすることもできず新学期を迎えたことは、とても残念なことだと思います。また、ただ家にいるだけで部活動もできないということが続くと、いつまでこんな生活が続くのだろうと心配になったのではないのでしょうか。

まだまだ油断のできない状況の中、新学期がはじまりました。三つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避けながら学校生活・家庭生活の中で自らできる最善の努力をしてもらいたいと考えています。

今年1年どんな年にしたいと考えていますか。2年生は部活動で頑張り、友達を増やすとともに、将来の進路に向けて自分は何に向いているのか何になりたいのか、どんな勉強をしていけばいいのかを考えてください。3年生は最高学年として夏までは部活動や行事の中心としてリーダーシップを発揮するとともに、来るべき入学試験や就職試験に備えて必要な情報を調べ、具体的な対策を始めてください。私たち教職員は、それぞれの思いの実現に向けて全力でサポートします。

佐伯高校の学校目標は学力をつけることはもちろんですが、一方で社会に出て困らない人・社会に役立つ人材の育成が大きな役割であると考えています。壁にぶち当たった時や悩んだ時に現れる「楽な方向に流れる」「その場から逃げ出す」「自分の殻に閉じこもる」という選択肢を打ち破り「挑戦する」「自分を変える」という意識に変える過程こそ佐伯高校で学んで欲しいことなのです。明日から1年生が入学して33名ファミリーが増えます。

人には性別や身長などの違いのほか、性格の違いや身体的特性の違いがあることは当たり前です。自らの命を大切にすることはもちろんのこと、仲間の身体や命を大切に、悪口やいじめ差別で一人でも佐伯ファミリーの一員が嫌な思いをすることのないように、他の人の特性を認めながら自分の家族に接するように、クラスの仲間や後輩に接し、優しく気配りができる自分になってください。私たち教職員はいじめや不正を絶対に許しません。安心安全な学校を共に創っていきましょう。